

## レセプト疾病構造分析事業報告書

平成22年9月

### 事業の目的

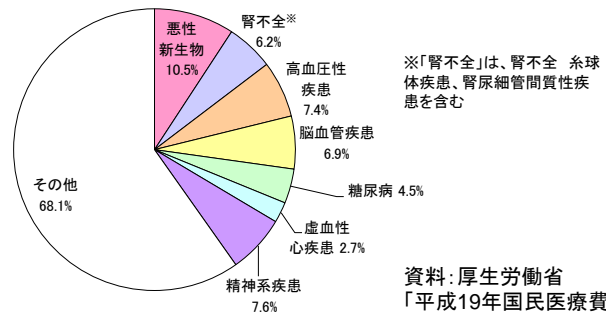
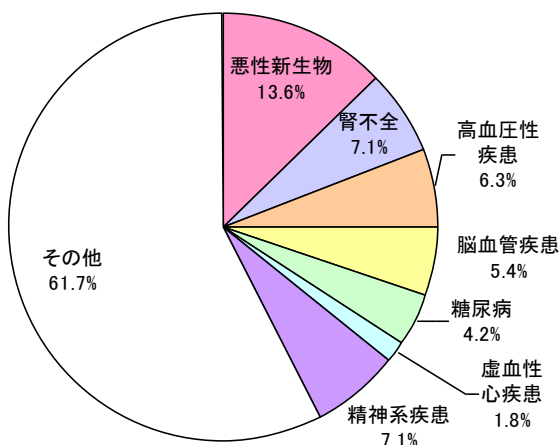
志木市の国民健康保険被保険者のレセプトデータ（平成20年5・10月診療分および平成21年5・10月診療分：計47,960件）および特定健康診査の結果（平成20・21年度：計8,090件）を活用し、医療費の動向、疾病の状況、生活習慣病等の実態を分析しました。このデータをもとに、本市の疾病構造や受診行動を把握し、今後の具体的な方策等を検討することを目的としました。

### 分析の結果

#### ▶「腎不全」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脳血管疾患」で、総医療費の約2割

〈志木市：主な疾病の総医療費に占める割合〉

\*参考〈全国：主な疾病の総医療費に占める割合〉



資料：厚生労働省「平成19年国民医療費」

#### 〈志木市：疾病別1か月当たり医療費 上位10位(入院+入院外)〉

| 主病                    | 医療費(円)     | 割合   |
|-----------------------|------------|------|
| 腎不全                   | 18,360,873 | 7.1% |
| 高血圧性疾患                | 16,287,343 | 6.3% |
| その他の悪性新生物             | 12,378,395 | 4.8% |
| 糖尿病                   | 10,867,488 | 4.2% |
| 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 9,849,010  | 3.8% |
| 脳梗塞                   | 8,140,718  | 3.1% |
| その他の消化器系の疾患           | 7,295,003  | 2.8% |
| その他の心疾患               | 6,988,970  | 2.7% |
| 骨折                    | 6,884,325  | 2.6% |
| その他の内分泌、栄養及び代謝疾患      | 6,076,348  | 2.3% |

注) グラフ構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない

#### ▶生活習慣病別医療費・受診者1人当たりの医療費の1位は「腎不全」

人工透析をうけている者の年間医療費は500万円以上になると推計され、また、腎不全で人工透析を受けている約半数が糖尿病性腎症（糖尿病の悪化による腎症）によるものでした。

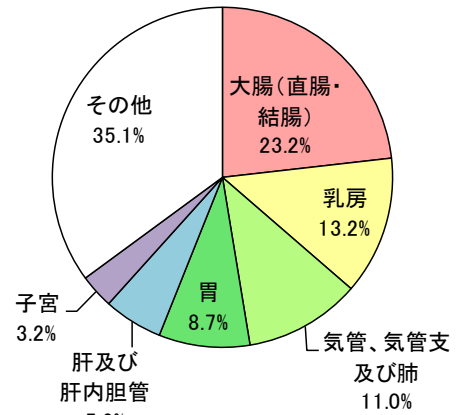
#### ▶主要疾病別受診者数の1位は「高血圧性疾患」

主要疾病別で1か月あたりの受診者数（入院・入院外合計）をみると、1位は高血圧性疾患の1,776人で、2位の糖尿病585人と比べ、約3倍も受診者が多いことがわかりました。

## ▶新生物部位別医療費の上位は「大腸がん」「乳がん」「肺がん」

〈悪性新生物の医療費に占める割合(部位別)〉

総医療費に占める悪性新生物の割合は最も高く、新生物部位別の医療費では、「大腸がん(直腸がん・結腸がん)」「乳がん」「肺がん」が高い結果となりました。

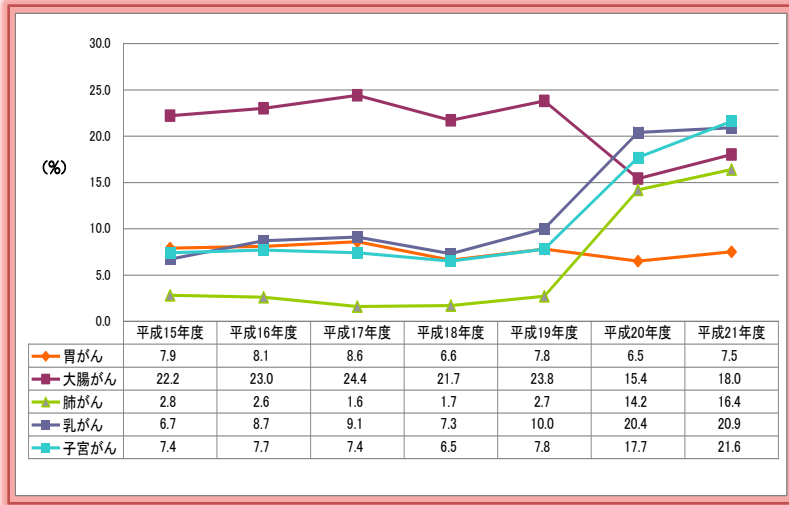


志木市におけるがん検診受診率の推移をみると、肺がん、乳がん、子宮がんについては上昇傾向にあります。胃がんは横ばい、大腸がんは20年度に大きく下降し、21年度でやや上昇に転じています。

〈目標〉

平成24年度がん検診受診率：50%

### [参考] 志木市 がん検診受診率の推移

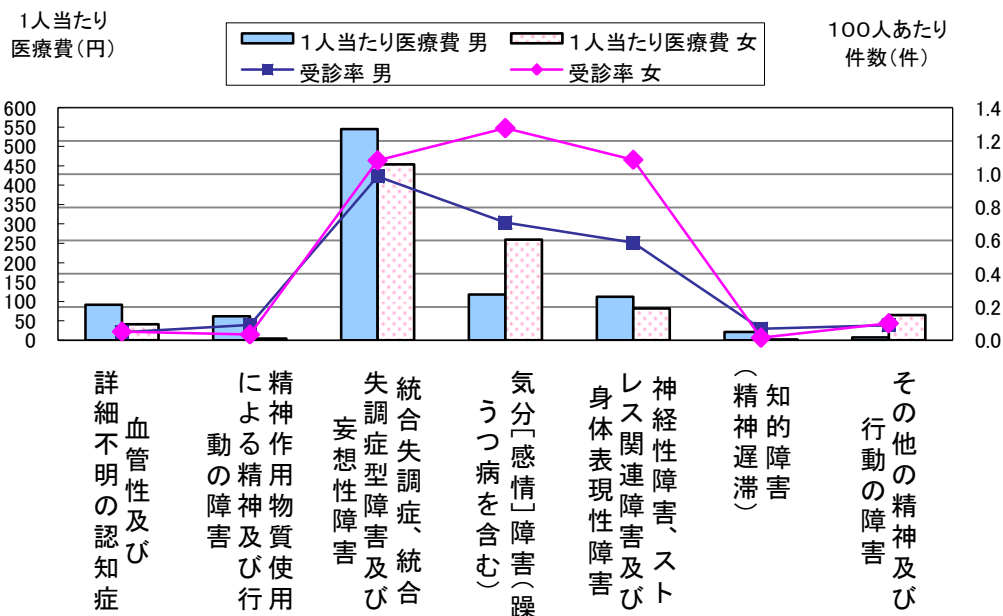


## ▶精神疾患別医療費・受診率の上位は「統合失調症」「気分障害」「神経性障害」

精神及び行動の障害別の医療費では、「統合失調症」、「気分障害(うつ病を含む)」、「神経性障害」の順に高く、上位3疾病で8割を占めました。

また精神疾患について、医療費は男性が、受診率は女性が高い(特に「気分障害」)結果となりました。

〈精神及び行動の障害の疾病別、男女別、被保険者1人当たり医療費、受診率〉



年齢別で主な疾病の受診者数をみると、

**統合失調症**  
...30歳代

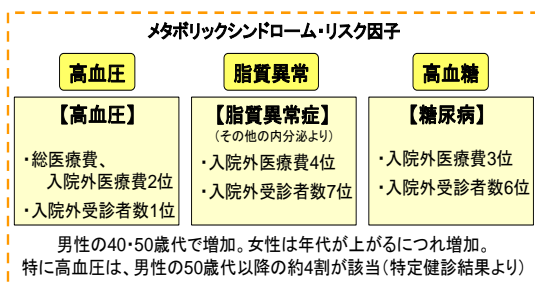
**気分障害**  
**神経性障害**  
...30歳代と60歳以上

に多い傾向がみられました。

## ▶ 男性の40歳代・50歳代で、肥満、高血圧、高血糖、脂質異常の該当率が高い

◀ 「リスクの重複→メタボリックシンドロームの発症・重症化→疾病の発症→重篤化→高額医療費」の流れ

メタボリックシンドロームのリスク因子である腹囲肥満、高血圧、高脂質、高血糖を見ると、男性の40～50歳代で、肥満者、脂質異常の該当率が高くなっており、高血圧、高血糖においては、40歳代から50歳代にかけて急激に増加する傾向がみられました。



相互に併発することで

動脈硬化促進

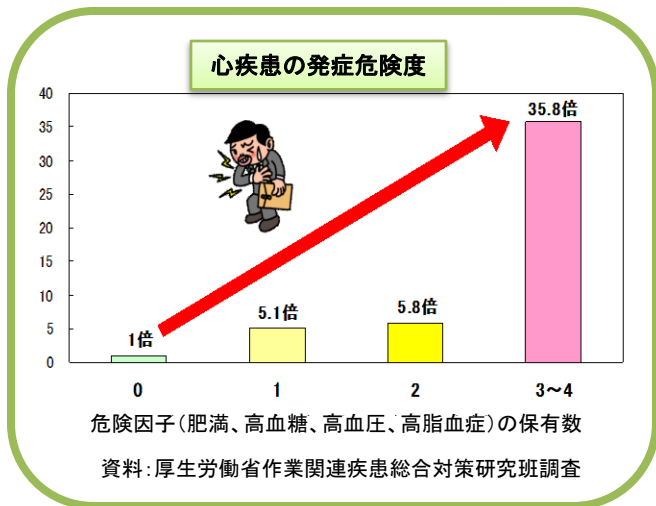
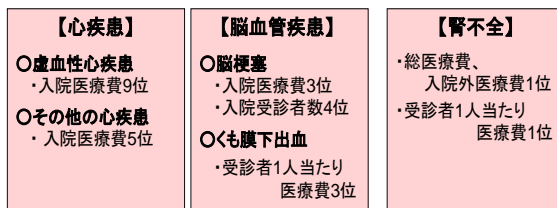
血管変化の進行

心疾患・脳血管疾患の発症リスク増大

糖尿病の重篤化

循環器系疾患

糖尿病性腎症

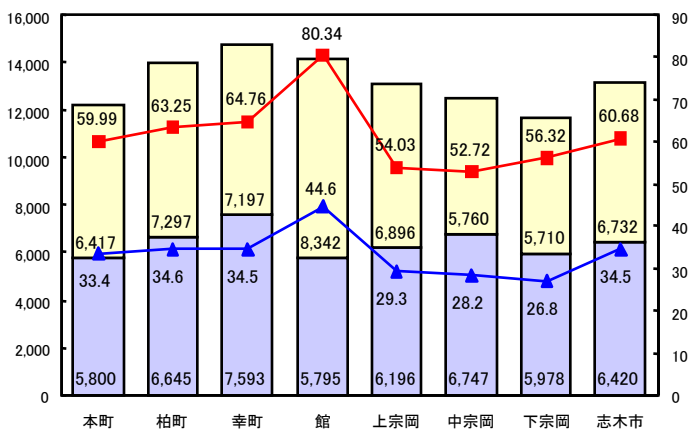


## ▶ メタボリックシンドローム該当者の5割以上が「男性」「60歳以上」「BMI25以上」「20歳から10kg以上体重増加あり」「運動習慣なし」に該当

## ▶ 特定健診受診率が高い地区は、健康意識も高く、1人当たり医療費も低い

◀ 医療費と医療受診率、特定健診受診率の関係(地区別)

1人当たり医療費(円) 入院 入院外 受診率 特定健診受診率 100人あたり件数(件) 特定健診受診率(%)



※館地区以外は受診率が高くなると医療費も高くなる相関傾向がみられた

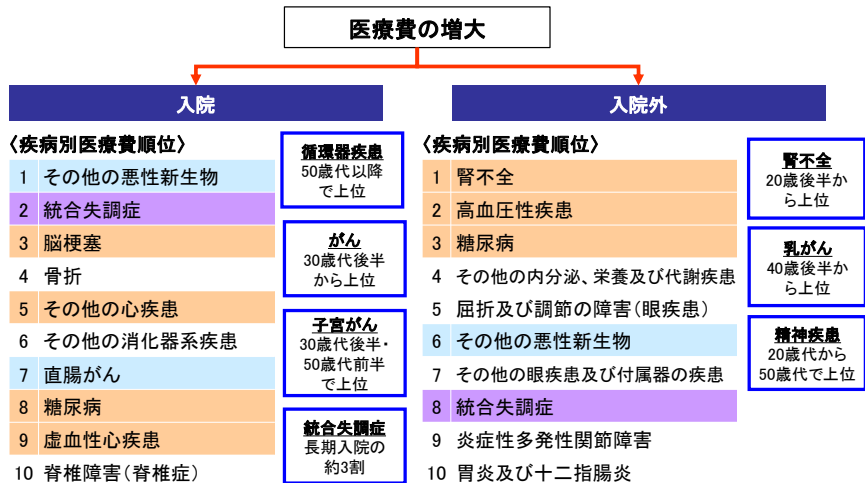
受診率が一番高い館地区は入院医療費がもっとも低くなっています。

館地区は他の地区に比べて、肥満該当率、メタボリックシンドローム該当率が低く、「運動習慣」のある人の割合が高いことがわかりました。

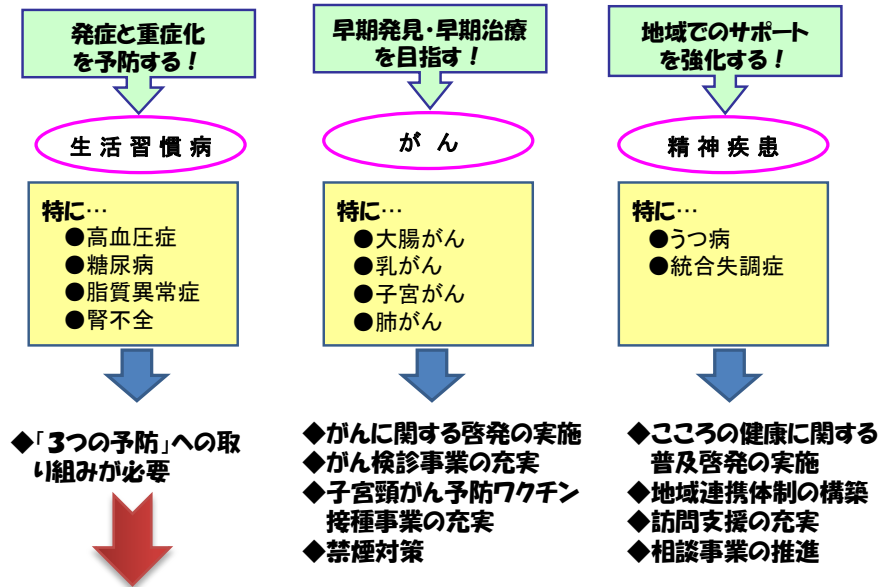
## ▶ 市民病院は市民の健康を守る担い手

志木市立市民病院は、入院・入院外ともに受療機関として上位を占めており、また同総合健診センターは特定健診の受診先として最も多く利用がありました。

# 今後の施策の方向性



## 医療費を抑え、市民の生活の質を守るために……



### 〈生活習慣病の発症予防・重症化予防のためのアプローチ～3つの予防への取り組み～〉

